

児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年 12月 20日

事業所名：feel西明石

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<p>【各部屋の使用状況】 必要に応じて部屋の戸を閉めたり、パーティションで区切ったりと個別療育時に集中しやすい環境やクールダウン出来る場所を整えています。必要のない時は広い空間で過ごせるように配慮しております。</p> <p>【安全面への配慮】 フローリングの上にジョイントマットを敷き、背の高い家具には転倒防止の伸縮棒を設置しています。運動などの動きがある活動をする時には、机を移動させ、広くしてから活動することで、安全面に配慮をしています。また本棚や壁の角等にコーナーガードを取り付けることでぶつかった時の衝撃を緩和できるようにしています。</p>	<p>はい71.4% どちらともいえない14.3% いいえ3.6% わからない10.7%</p> <p>・欲を言えばもう少しスペースがあれば良いな、と思います。 ・一日の利用者上限、施設の広さとの兼ね合いもあるとは思いますが十分やっていますと感じます。 ・同じ時間に10人の子どもが揃った状態を見学したことがないので、十分と言えるのかは分かりません。</p>	<p>引き続き、活動(個別、運動あそび、こぼし音楽、余暇活動等)によって部屋を分けることで、活動への参加や切り替えがしやすくなるように努めていきます。 今後、LINE等でお子さまの写真や動画を保護者の方にお送りしようと考えています。また、ブログやInstagramのお写真を見ていただけましたらお部屋の雰囲気をご確認していただけたらと思います。 来年度も参観を予定しておりますので実際に保護者様の目でご確認をしていただけますと幸いです。 ※携帯の画面で下記のURLを長押しするとリンクにアクセスができますのでご確認をお願いします。この後もURLが張り付いている場合はご確認して頂けたら幸いです。 ブログ：https://cocotoko.com/ Instagram： https://www.instagram.com/feel_since2017/</p>
	2 職員の適切な配置	<p>【定員】一日の定員は10名までになっています。職員は、常時5名以上配置されています。</p> <p>【専門性】スタッフは全員が有資格者です(保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等)。スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関の掲示やホームページにてお知らせしています。今後も、スタッフの専門性を活かした療育内容(カウンセリング、制作、身辺自立等)を計画していきたいと考えています。 HP：https://cocotoko.com/office</p> <p>【カウンセリング】カウンセリングやプレイセラピーが必要な場合は臨床心理士や公認心理師の有資格者または受験資格のあるスタッフが対応するようにしています。</p>	<p>はい90.6% どちらともいえない3.6% いいえ わからない</p> <p>・ただ、毎回見てはないので、実際は分からないです。 ・失礼ながら保育士のみでは一般の保育所におられる保育士さんと同様に感じます。保育士に加えて専門的に知識をもっておられる方が対応してほしいです。</p>	<p>・今年度は内部研修(年間12回)やスタッフ間の相互理解および交流を図る取り組み(3か月に一回ほど)、日々のミーティング等を通してスタッフの専門性を高めています。また外部研修も積極的に受講することによりすでに取得している資格以外の分野でも専門性も高められる環境を整えています。 複数人のスタッフで小集団活動に取り組んでいるため、それぞれの視点から気づいたことを支援に活かしていけるよう、引き続き積極的な職員間の意見交換も行っていきます。</p>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<p>・玄関等の段差については借家のため改修が難しく、ご不便をおかけしております。 ・お子さんへの分かりやすい支援として、特性に応じて、絵カード等の視覚支援やICT(パソコン・タブレット)の活用、スケジュール化等を行っています。 ・おやつを選ぶ時には操作できるレプリカの硬貨を活用したり、体調や気分を指差して表現できるようにパロメーターの表を掲示するなどの視覚支援を行っています。 ・課題の後にごほうびのシールやお子さんの好きな玩具等を準備することで、達成感を感じていただけるよう工夫しています。 ・プログラム活動時に、見通しが持てるように事前予告の声かけを行ったり、タイマーを使用して切り替えのタイミングをわかりやすくしたりしています。また、定期的にタイマーを鳴らすことで、こまめに水分補給を促すことができ感染予防につながっています。 ・玩具の棚は片付けやすいように写真を貼って、どこへ片付けるかお子さんにとって分かりやすくしています。</p>	<p>はい82.1% どちらともいえない7.1% いいえ3.6% わからない7.1%</p> <p>・見てないので分かりません。</p>	<p>今後もお子さんの特性に応じて、教材や環境を調整し、継続して取り組んでいくことで、どなたにとっても分かりやすく、また安心できる居場所となるようにしていきます。</p>
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<p>・熱中症や脱水を起さないように、一年を通して活動の合間にお子さんに水分補給を促しています。 ・また、感染症予防のために一年を通して常時換気をしています(猛暑日等は30分に一度換気)。 ・おやつのはきは使うたびにアルコール除菌を行ったり、よく使うものや触るもの(ドアノブなど)に毎日アルコール消毒をしたりしています。また、おやつ前とおやつ後は手洗い、アルコール消毒を徹底しています。 ・加湿器を置き、風邪やウィルス感染の予防につなげています。 ・毎日療育後は午前・午後ともに掃除機とアルコールでの床拭きによる清掃を行い、教材や玩具のアルコール消毒をおこなっております。</p>	<p>はい96.4% どちらともいえない3.6% いいえ わからない</p> <p>・室内マットに経年劣化を感じますので、資金面で厳しければ保護者から寄付を募る等しても良いかと思えます。 ・2階で手を洗うのは承知しているのですが、階段などで手すりをもつこともあるかと思うので、玄関でまず一度アルコール消毒があればより安心かとおもいます</p>	<p>ご指摘いただいたことで室内マットに経年劣化を実感することができ買い換えました。ありがとうございます。 お子さんが清潔で心地よく安心して過ごせるように、継続して掃除や環境を整えていきます。 また、引き続き来所時の手洗いの徹底や手すりやドアノブの朝夕のアルコール消毒の実施とともに、玄関でのアルコール消毒も取り入れ感染予防に繋げていきます。</p>
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<p>毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りを行っています。また月に一回所長会議、管理職会議をする中で現場の声を大切にしながら働きやすい業務改善を考え取り入れ、次の会議で振り返り今後の課題や対応を話し合っています。</p>		<p>継続していきます。</p>
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<p>他事業所間での情報共有やプログラム、研修内容等、情報交換しながら業務改善を図っています。 また事業所間での職員交代を実施することで第三者の意見を取り入れられるようにしています。</p>		<p>継続していきます。</p>
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<p>スタッフの専門性を高めるために、学期ごとに1回内部研修を行っています。 内部研修では、虐待予防や感染症対策、パワーハラスメント予防、スタッフ同士の交流を深めるためのチームビルディング研修、カウンセリング技能について、不登校への対応について、また新版K式発達検査2020などの研修を実施しています。 外部研修では、起立性調節障害、ジェンダーとセクシュアリティ、人材育成、パワハラ防止法、障害のあるお子さんへの性教育のあり方、請求事務、モンテッソーリ療育、乳幼児期の療育や保育、デジタルアートを使った発達支援、応用行動分析、障害をお持ちの方へのスマホ・パソコン入門、WAIS-IV-、いのちの電話、保育所等訪問支援、思春期のお子さまへの支援やリスク対応、進路相談、支援計画の立て方、子どものための地域連携などの研修を受講し、日々研鑽しています。</p>		<p>来年度以降も、月に1回程度、内部研修を実施する予定です。また、積極的に外部研修等も受講し、お子さんの将来的なビジョンを考慮しつつお子さんの療育や、保育所等訪問支援、保護者様へのご相談においてお役に立てるよう、専門性の向上に努めていきます。</p>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は保育所等訪問支援計画の作成	・太田ステージ評価や質問一応答関係検査、新版K式発達検査2020、WISC-IV知能検査、行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、支援計画を作成しています。 ・保護者の方の願いに即して作成させていただいています。	はい100% どちらともいえないいいえ わからない	上記で記載したように療育の姿を実際に参観や写真で見えていただくことで支援計画の作成ポイントが分かりやすくなるのではないかと思います。引き続きモニタリング時に保護者の方からの聞き取りを丁寧に行っていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は保育所等訪問支援計画の作成	集団活動で内容を個別の中で伝えたり実際にやってみたりすることで安心して集団活動にとりくめるようにしています。また個別でしている内容を集団活動に取り入れることで、個別と集団活動が連動するような計画も行っています。		継続していきます。
	3	児童発達支援計画又は保育所等訪問支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標では1ヶ月～6カ月でお子さんが達成できそうな項目にポイントをしぼり、普段の様子や保護者の方の聞き取り等を参考に具体的な支援を検討しています。支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要かについて記載し、作成させていただいています。	はい91.3% どちらともいえない8.7%いいえ わからない	継続していきます。
	4	児童発達支援計画又は保育所等訪問支援計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って日々の活動内容を検討し、支援計画以外でも必要と感じる項目は、保護者の方や職員間で相談しながら療育に入れるようにしています。	はい96.4% どちらともいえない3.6%いいえ わからない	継続していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	SST・制作・運動のプログラムは数名のスタッフで順番に立案しています。立案したものを実際に支援員がしてみたり、ミーティングの中で協議したりしています。また他事業所とも共有することで様々なアイデアを取り入れ固定化しないように努めています。		継続していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・降園後に利用される平日は、本人の気持ちや体調等に応じて個別療育や余暇など活動する順番を考慮しています。 ・長期休暇時には玩具の制作等、普段しない活動を取り入れることで楽しみながら課題に取り組めるようにプログラムを考えています。 ・長期休暇中はご希望に応じて、生活習慣が変わることが苦手な午後利用のお子さんに、午前にご利用していただくなど、お子さんの特性に応じて柔軟に対応をしています。		コロナ感染予防から実施していなかった、長期休暇時のプログラム(クッキングやお買い物等)を来年度は取り入れていく予定です。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	小集団活動では、週や月でプログラムを立て直しことば音楽・運動・SST・制作活動を行っています。また長期休暇時には氷あそび等、いつもとは違う療育をしています。個別療育では、お子さまの理解度や興味のあることなどを取り入れたり、本人・保護者さまからのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えています。また計画したプログラムでもその日の子どもの様子に合わせて柔軟にアレンジして参加しやすくしています。	はい78.6% どちらともいえない10.7%いいえ3.6% わからない7.1% ・インスタ、ブログ等でも日々工夫して頂いていることが伝わります。 ・我が子の月齢が小さいせいかなどなことをしているのが詳しくわからないところがある。	引き続き継続したプログラム(ことば音楽・運動遊び)を取り入れることで、できなかったことができるようになる経験を積めるようにし、自信に繋がるようにしていきます。また年齢やお子さんの特性を見て、繰り返しの大切さと固定化しない新鮮さを意識して実施していきます。午前中のお子さんは人数が少ないですが、2人以上のご利用があれば玩具の貸し借りや運動遊びなどお子さんたちのご様子に合わせて小集団活動を実施しています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	新しいプログラムが始まる時は各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフでロールプレーをしたり話し合いをしたりして、プログラムのイメージがしやすいように工夫しています。個別療育で使う席の配置や小集団活動でのプログラムの役割分担についてはその日その日の子どもたちの様子で事前に話し合い決めております。		継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	小集団活動での取り組みについてのチェックリストや実施記録表の活用を行い、スタッフ間での共有を行っています。		継続していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別、小集団療育ともに保管用の記録と保護者向けのスケジュールを書いています。ミーティングを通して、気になったことやよかった支援などを話し合い、よかった支援はスタッフで共有して継続しています。また、家庭や関係機関とのお話の中で、より細かなお子さまの状況を教えていただくことで、より多角的な面から検証することができます。		継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は保育所等訪問支援計画の見直し	ミーティングの中で計画の見直しをしたり必要に応じて関係機関連携を行ったりすることで、1～6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。		継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	日程調整ができた時には、児童発達支援管理責任者、個別担当が出席し、情報共有や役割分担について話し合っています。また定期的に相談支援事業所との話し合いや書面のやり取りも実施しております。		継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な子どもの方はご利用されていませんが、保護者のご要望に応じて保健、医療、障害福祉、学校との情報共有や支援会議を実施しています。		継続していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な子どもの方はご利用されていませんが、お子さまが通院している病院との連携のため主治医からのアドバイスを参考にさせていただいたり、協力医療機関(あだちこども診療所・加古川)と情報共有をさせていただいています。		継続していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	お子さんが通われている保育所や幼稚園等の担任の先生と必要に応じて支援方針や対応について情報共有させていただいたり、訪問活動を通じてより細かな移行支援につなげたりできるように働きかけています。		継続していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	卒業後に、障害福祉サービス事業所をご利用の方がこれまでにいらっしゃらなかったのですが、今後もしご利用の方がおられましたら必要に応じて情報共有ができましたらと思っています。		継続していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフが学会や社会福祉協議会、兵庫県や明石市主催の研修を受けています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度は交流する機会がありませんでした。	はい28.6% どちらともいえない14.3% いいえ14.3% わからない42.9%	今後活動できる機会がありましたら検討いたします。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度の11月からコープ西明石の地域交流会や3ヶ月に一度和坂小学校で開催されている和坂マルシェに子育て相談ブースを作って頂き地域の方との交流できる機会を実施することができました。		今後もコープ西明石の2Fでの地域交流会や和坂マルシェに参加させていただけることになっていきますので、地域住民の方との交流を深めて期待とします。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	最初の契約時に、支援計画の説明、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ています。	はい89.3% どちらともいえない10.7% いいえ わからない	継続していきます。
	2 児童発達支援計画又は保育所等訪問支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者の方と情報共有したり、対応についてのアドバイスをさせていただいたりしています。	はい96.4% どちらともいえない3.6% いいえ わからない ・送迎時でも支援員さんが色々お話し下さるので有り難いです。連絡帳もしっかり書いて頂き、普段接することが出来ない夫もよく分かる感謝しています。	継続していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者向けに学期ごとに1回、年度内計3回のペアレントトレーニングの研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけになったり、保育所などの関係機関との話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。今年度は1学期に同時・継続処理、就学相談に向けて、2学期にICTを活用した学習、子どもとの向き合い方についての研修を実施しました。3学期にもお子さまへの関わりについてペアレントトレーニングを実施予定です。またペアレントトレーニング当日のご参加が難しい保護者の方でも話が聞けるように、後日YouTubeでの配信も行っております。	はい82.1% どちらともいえない17.4% いいえ わからない10.7% ・毎回興味深い内容で感心させられます。交流会も楽しいです!	できるだけたくさんの方が参加しやすい日程での実施を考え、早めに日程をご案内できるようにしていきたいと思っております。YouTubeの配信内容も保護者の方に周知できるように玄関で最新の動画タイトルをお知らせしていきます。 YouTube: https://www.youtube.com/@user-ji6tv9jg2e/videos
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別療育での状況や課題はファイルに記入してお伝えしております。保護者の方から質問などがある場合はファイルに記入したりお時間を頂きお話しさせて頂いております。	はい92.9% どちらともいえない7.1% いいえ わからない ・連絡帳にわかりやすく書かれています。	継続していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時、気になることや嬉しかったことがあった場合はこちらからも保護者の方に声をかけて成功の追及をしています。駐車場の関係で送迎時にゆっくりお話しが出来ないため必要に応じては相談できる時間を設けたり、希望の方には継続のカウンセリング(事業所内相談)を行ったりしています。上記の実施が難しい場合も必ず年に二回のモニタリングでお話させていただいております。ホームページで研修資料をご覧いただいたりダウンロードしていただいたりすることができます。 https://cocotoko.com/2020-06-18-01-22-46	はい85.7% どちらともいえない10.7% いいえ わからない3.6%	継続していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	Zoomでのペアレントトレーニング研修後に、保護者交流会を開催していましたが、今年度11月から数年ぶりに事業所内で対面での保護者交流会を開催することができました。	はい78.6% どちらともいえない14.3% いいえ わからない7.1% ・オンラインだとやり方がわからずなかなか参加する気がわかなかったため、今月のように対面で皆さんとお話できる方が参加しやすいです	2024年度も引き続き対面で、研修後に保護者交流会を実施したり、保護者交流会のみの開催も行う予定です。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情相談の担当者や事業所外での窓口についても説明しています。	はい82.1% どちらともいえない3.6% いいえ わからない14.3% ・そのような状況になったことがないのでわからない。 ・苦情を入れたことがないので対応については分からない	今後も普段から気になったことを相談しやすいような関係づくりを行っていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子さまや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやメール等で見て分かる形にしています。また特性に応じて大事な話を先にしたり、何回かに分けて伝えたり1対1でゆっくり話が出来る時間を設けていたりしています。	はい92.9% どちらともいえない14.3% いいえ わからない7.1%	継続していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎週末4事業所順番に(そのため各事業所月に一回)HPとSNSに活動概要をお伝えしています。行事やアンケートがあるときにはグループフォームでの回答をお願いしています。また今年度から実際にお子さまの様子を見て頂けるよう参観日を実施いたしました。	はい82.1% どちらともいえない10.7% いいえ わからない7.1% ・玄関の掲示物、なかなかじっくり見ることが難しいのが少し残念です。	ブログ: https://cocotoko.com/ Instagram: https://www.instagram.com/feel_since2017/ 上記に月に1回ブログをアップしております。 YouTube: https://www.youtube.com/@user-ji6tv9jg2e/videos 上記に月に1回お子さんへの対応等について発信しております。 また個別にお子さまの様子も見て頂けるように、来年度も参観の実施や療育中のお子さまの写真の送信を行う予定です。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時の個人情報についてアンケートをもとに玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。また情報提供に関しては提供して下さったご家族の方の承諾を得てから他の方にお伝えしていきます。スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守しています。	はい92.9% どちらともいえない7.1% いいえ わからない	引き続き保育所等訪問支援時など外部とお子さんの情報共有をする時は持参する書類の名前に網掛けをするなど、個人情報の秘密保持を厳守していきます。また、持ち物や書類などの渡し間違い等もないように必要に応じて電子化するなど、より良い対応を考えていきます。管理職会議や日々のミーティング等を通して、より安全に個人情報を保護できるよう、今後も意見を出し合っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTの中で不審者対応を行ったりしています。感染症についてはマニュアルにもとづいて対応を考えており職員間で役割を決め消毒などの確認を毎月行っております。 また各マニュアルはどなた様にも閲覧・確認して頂けるよう、ホームページに掲載しています。 https://cocotoko.com/nursing	はい89.3% どちらともいえない3.6% いいえ わからない7.1%	玄関掲示などたくさんの方に周知できる対応を考えていきます。 またBCPもたまたま作成中ですので来年度には周知できるようにしていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震・不審者・水害・てんかん発作等への対応と順番に訓練を実施し、避難バックの中に水やお菓子の備蓄をしています。 緊急で薬が必要な方は個人ファイルに保管しています。学期ごとにSSTの中で避難訓練(火事・地震・不審者など)も取り組んでおります。活動後はホームページにもアップしております。	はい82.1% どちらともいえない7.1% いいえ わからない10.7%	来年度から風水害の避難訓練も実施を予定しています。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	年に1回以上は、スタッフに虐待防止研修を行っています。また虐待についての外部研修にも参加しております。また年に2回虐待委員会で話し合いを行っております。		継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	半年に一回保護者の方とお話をさせていただき、ご署名をいただいています。また年に2回会議の場を設けて身体拘束が必要か等、職員の話し合いもおこなっています。		継続していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあり、指示書が必要な方には記載していただき、薬はすぐに対応できるよう個別ファイルに保管しております。また職員間で共有しリスト化して掲示しています。		2023年12月から万が一を考え卵を含むおやつのは提供は行わないことになりました。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	お子さまの安全に関係する事等、ミーティングで話し合った後に、ヒヤリハットを作成し、対応策を考えています。またその日欠勤の職員にも伝えるよう回覧板で回しています。また他事業所にも共有することで事業所内だけでなく他のお子さまの安全にもつながる様に努めています。		継続していきます。
	<p>・行きしぶりもないので、楽しんで行けるのだと思います。 ・行く前は少し不安な様子ですが行ってしまえば楽しんでるようです。 ・駐車場に着いたら分かるので、分かって早く行きたい！と表現しています。 →お子さまに楽しんでご来所いただき、療育に参加していただけるよう、今後も様々なプログラムを取り入れていきます。また保護者の方やお子さんに寄り添い、お子さんの特性やペースに合わせた療育内容をご提案し、安心して過ごしていただける場となるよう環境を整えていきます。</p> <p>・土曜日の時間を午前中だけでなく、午後も開所して欲しいです。 →土曜日の午後に内部研修の実施等をさせていただいていることで支援員の専門性を高める環境を作っております。今後も質の良い療育を提供できるよう努めていきたいのでご理解して頂ければ幸いです。</p> <p>・STを配置してくれたらありがたい →貴重なご意見ありがとうございます。未就学のお子さんの場合、コミュニケーションの基礎を養う発達段階のため、まず「話したい」気持ちを育むことやその気持ちを大切にしながらやりとりを楽しむことに重点を置いております。また、現在STやOTの勤務はありませんが、今後、STやOTの資格を持った方が主催する研修を受けさせていただき、個別療育の中ですでに取り組んでいる内容に加えてお口の体操などにも取り組めるようにしていきます。</p> <p>・他の事業所も利用していますが、支援員さんの熱心さや専門職員の配置率、連絡の迅速性と細やかさ等あらゆる面でレベルの高さが群、を抜いています。 SNS発信も活発なのでいつも楽しく拝見させて頂いております。 充実した療育を受ける事ができて親子ともども感謝しかありません。 これからも宜しくお願いします! →温かいお言葉をありがとうございます。今後も職員が専門性を高められるよう、研鑽を積める環境を整えていきます。 また、引き続きお子さんにも保護者の皆さまにも信頼していただける関係づくりを目指してまいります。 今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p>			